

NEWS RELEASE

2007年1月5日

**情報セキュリティマネジメントシステム
「ISO/IEC27001:2005」「JIS Q27001:2006」認証を取得**

株式会社電通（俣木盾夫社長、本社・東京、資本金 589 億 6,710 万円）は、この度情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の国際規格「ISO/IEC27001:2005」及び国内規格「JISQ27001:2006」の認証を全社（東京本社、関西本部、中部本部）で取得した。

電通は情報セキュリティマネジメントシステムとして国際規格「BS7799-PART2:2002」の認証を既に取得しているが、今回の「ISO/IEC27001:2005」の認証取得は、ISO（国際標準化機構）が「BS7799-PART2:2002」をもとに2005年10月にISMS認証基準の国際規格として「ISO/IEC27001:2005」を発行したことを受け、移行審査を受審し、認証されたものである。

また国内では「ISO/IEC27001:2005」をもとに、「ISMS認証基準 Ver. 2.0」が2006年5月に、「JIS Q27001:2006」としてJIS化されたため、同時に「JIS Q27001:2006」も取得した。

<認証取得概要>

取得認証規格	ISO/IEC27001:2005	JIS Q27001:2006
申請受理番号	JIO200	JIO200
登録番号	I122	I122
発効日	2006年12月21日	2006年12月21日
審査登録機関	日本検査キューエイ(株) (JICQA)	日本検査キューエイ(株) (JICQA)
認定機関	オランダ認定協会 (RvA)	日本情報処理開発協会 (JIPDEC)
有効期限	2009年4月10日	2009年4月10日

登録範囲：広告及び関連するサービスの提供（プロセス、運用業務及び経営資源を含む）。東京本社並びにデータセンター、関西支社及び中部支社における、顧客から預かる情報資産及び顧客に提供される情報資産をすべて含む。

<「ISO/IEC27001:2005」・「JIS Q27001:2006」について>

「ISO/IEC27001:2005」は、情報セキュリティの国際規格であり、2005年10月に発効された。

この規格はもともと情報セキュリティの英国規格「BS7799」を基本としており、それが拡張されて国際規格に発展した。

日本ではこの「ISO/IEC27001:2005」をもとに、「ISMS適合性評価制度」が「JIS Q27001:2006」として2006年5月にJIS化された。